

さんへ 議会だより

義勇消防

郷土愛に満ちた「消防団魂」で町を守る！



Facebook配信中!!
今すぐアクセス!!

第172号

平成29年5月23日発行
青森県三戸町議会



なんぶ丸

平成29年度予算の編成方針	2
平成29年度予算を審議	4
第469回定例会	6
たばこ耕作組合女性部をピックアップ	7
4議員が一般質問	8
友好都市静岡県牧之原市等行政視察報告 ..	12
常任委員会の活動報告	13
議会議員協議会研修報告	14

56億2,574万円

第469回 定例会

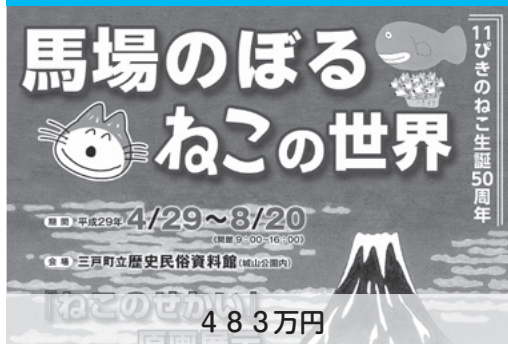
平成29年度の事業ピックアップ

地域商社機能構築・強化事業



4516万円

11ぴきのねこ50周年記念事業



483万円

町民提案地域活性化事業費補助金



100万円

子ども医療費助成費



2,170万円

橋梁長寿命化修繕事業



6,261万円

パークゴルフ場運営費



1,761万円

第469回定例会を平成29年3月2日から9日にかけて開き、条例の制定や改正、補正予算案など29件について審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、平成29年度予算については、全議員による予算特別委員会（山口菊男委員長）を設置して審査し、一般会計をはじめ8会計すべて認定しました。

予算概要

町の基本的な行政運営に必要な経費が計上されている一般会計の当初予算は、昨年度と比べて1276万円の増額となりました。

主な要因として、平成29年度は、地域商社機能の構築・強化事業（予算額4516万円）として、地域商社機能構築委員会を設置し、地域資源の発掘や商品開発などを検討し、農産加工業の六次産業化に向けた取り組みを新たに展開していくことが挙げられます。

その他に、今年度は町民提案地域活性化事業費補助金や11ぴきのねこ50周年記念事業など、町の活性化につながるまちづくりを目指した予算編成となっています。

（予算特別委員会での審議については、4～5ページに掲載）

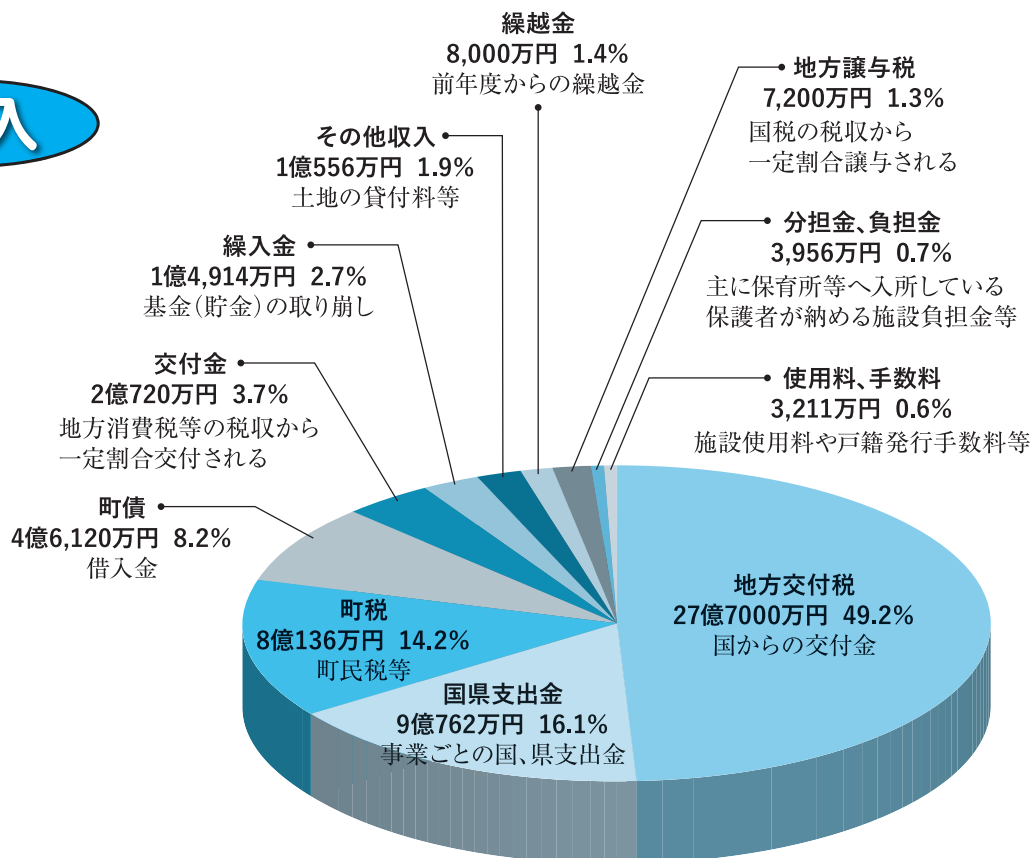


平成29年度
予算決まる

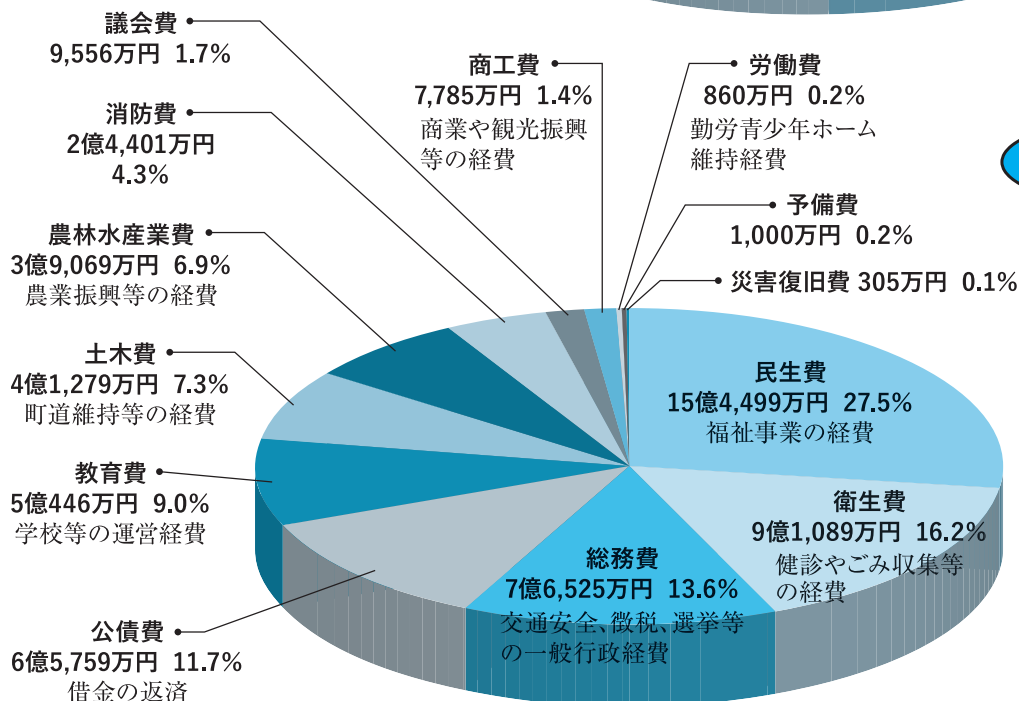
一般会計当初予算

平成29年度一般会計予算の内訳

収入



支出



予算特別委員会 ～町民の声を町政に～

平成29年度予算をチェック!!

主な質疑

一般会計

**11ぴきのねこ生誕50周年
記念事業の委託料とは**

大平委員

バルーンアートと熱気球
搭乗体験業務委託料の内容
は。

まちづくり推進課長

5月に城山公園で子ども
を対象に実施する風船工作
と、8月に城山公園で開催
する熱気球搭乗体験の委託
料である。ともに11ぴきの
ねこ生誕50周年に関連する
事業である。

**地域おこし協力隊員
募集状況は**

佐々木委員

地域おこし協力隊員の採
用見込みはあるか。

また、繁忙期に臨時職員
を雇うのではなく、職員の
縦割りを外し、他課からの
支援体制がとれないか。
その他に、移住者居住確

保事業費補助金の内訳は。

まちづくり推進課長

地域おこし協力隊員は、
4月から1名お願いする。
臨時職員は、ふるさと納
税業務の繁忙期である10月
から3月までを予定してい
る。

移住者居住確保事業費
補助金は、住宅の取得
やリフォームの助成に
1625万円と、民間賃貸
住宅の助成に284万円で
ある。



三戸町地域おこし協力隊員(出川友久さん)

総務課長

職員の数が少なく、半年
間のみ他課から異動して仕
事することは難しく、臨
時職員で対応するものであ
る。

**町民提案地域活性化事業費
補助金の対象団体は**

澤田(恵)委員

町民提案地域活性化事業
費補助金はどのような団体
が対象となるのか。

まちづくり推進課長

町内で地域活性化に取り
組む町民団体という定義
で、地域づくり事業を実施
しているNPO法人やボラ
ンティア団体、町内会等が
想定される。

対象となる団体が、公益
性の高いまちづくり事業を
実施する際の経費を補助す
るもの。

松尾町長

町民団体からの応募状況
や活動内容を吟味し、公平
公正に判断したい。



鳥獣被害対策実施隊員の活動のようす

**鳥獣被害に対する
積極的な取り組みを**

船場(清)委員

ニホンジカが増えてい
るため、果樹等への被害が大
きくなる前に対処するべき
では。

また、鳥獣被害対策実施
隊員の高齢化もあり、隊員
を増やす対策は。

農林課長

鳥獣被害対策実施隊員
の報酬は一人あたり年額
2万5千円に増額した。メ
リットをPRして、隊員の
確保に努めたい。



空き店舗を活用した三高生のチャレンジショップ

**商店街元気事業補助金
効果のある手法で**

佐々木委員

商店街元気事業補助金
は、効果のある事業を展開
する必要があるが、28年度
の事業内容とどのように変
わるのか。

まちづくり推進課長

11ぴきのねこの活用や商
店街の環境整備や空き店舗
対策事業など、28年度と同
じ内容を実施する予定であ
る。



会計別予算額

会 計 名			予算額	対前年度伸び率
一 般 会 計			56億2574万円	0.2%
特 別 会 計	学校給食共同調理場		4108万円	△ 1.7%
	簡易水道事業		5196万円	△ 0.9%
	下水道事業		2億6352万円	△ 11.1%
	後期高齢者医療		1億1930万円	2.4%
	介護保険		17億8125万円	△ 4.4%
	国民健康保険事業		18億1201万円	△ 3.0%
	三戸中央病院 事業	収益的收入	16億8933万円	△ 6.2%
収益の支出		17億4491万円	△ 3.1%	

橋梁補修工事
早めの対応を

町道府金線
安全対策は

澤田（道）委員

遠小橋は早めの補修工事をするべきでは。

建設課長

河川協議の申請をスムーズに行い、工事を進めたい。

佐々木委員

国道拡張工事に伴い、町道の改良もするべきでは。

建設課長

地元町内会等と協力し、地権者と相談したい。

中学生の海外派遣
弾力的な対応を

坂本委員

中学生の海外研修は、派遣人数を限定せずに、子どもの将来を考え、弾力的に派遣するべきでは。
また、子どもから大人まで合同の三世代総合文化祭を開催できないか。

教育委員会事務局長

海外派遣は10名で行いたい。

友田教育長

町民文化祭と町教育振興協議会主催の子ども文化祭の共同開催を検討し、今後協議を進めたい。

松尾町長

海外派遣は、生徒からの応募を早めに行い、柔軟な対応をしたい。



下水道事業特別会計

事業計画から12年
補助金の見直しを

坂本委員

下水道加入率を向上させるために、接続距離に応じた支援策と、管渠工事の進捗状況を示すべきでは。

建設課長

リフォーム事業等でも助成していることや、今後の整備計画についてもPRを行いたい。

介護保険会計

高い保険料
今後の軽減策は

大向委員

県内で高い保険料となっていることに対し、どういう軽減策をとるか。

松尾町長

介護予防など健康づくり事業の効果が発揮されているため、今後の推移を見守り、第7期の介護保険料に下げたい。

後期高齢者医療会計

保険料の未納者
医療の受診状況は

大向委員

町では、保険料の未納者にどのような対応をしているか。

健康推進課長

個別に納付相談をしながら、分納等で対応している。

反対討論

大向委員

保険料の未納により、保険証を取り上げられ、病院を受診できない例がある。このような保険者の対応策は、町で考えるべきであるため、賛成できない。

賛成討論

佐々木委員

被保険者が医療サービスを安心して受けることができるよう、必要な事務を進めるため、賛成する。

賛成多数により、可決
(賛成12、反対1)

国民健康保険会計

国保の都道府県化
負担は増えるのか

大向委員

国保制度が県へ移行することで、国保税は高騰するののか。

税務課長

現時点では保険税率に変更はなく、被保険者数等により保険税額が変わるものである。

反対討論

大向委員

国保制度の移行により、県内の国保税の高騰が心配される。国保税を納める側は大きな負担となるため、反対である。

賛成討論

久慈委員

子どもから高齢者までの医療と健康を支えるために必要な予算が適正に計上しているため、賛成する。

賛成多数により、可決
(賛成12、反対1)

魅力的なまちづくりを推進

ふるさと三戸応援基金条例を制定

議案と質疑

ふるさと三戸応援基金
条例の制定

ふるさと納税として寄せられた寄付金を適切に管理し、寄付者の意向に沿った事業に活用することで、特色ある魅力的なまちづくりを推進し、三戸町を継続的に応援していただけるよう、ふるさと三戸応援基金を設置する。

寄付者の意向 どう活用するのか

山口議員

ふるさと納税寄付者の意向に沿った活用とはどのような事業内容か。
また、どのようなものを返礼品としているのか。



ふるさと納税返礼品の特大ぬいぐるみ

まちづくり推進課長

ふるさと納税をする場合、5つの事業の中から寄付者の意向を確認をしている。その内容は、①11ぴきのねこによるまちづくり②桜の名所城山公園の整備③果樹等の特産品ブランド化推進④小中一貫教育の環境整備⑤三戸中央病院の医療体制整備充実の5事業である。

三戸町役場課設置 条例の一部改正

平成29年度から地方創生推進室を設置し、課と同等の組織体制を持つ室において、地方創生事業をこれまで以上に重点的かつ集中的に実施し、持続可能なまちづくりの実現を図る。

地方創生推進室 今後の方向性は

山口議員

地方創生推進室を設置することで、今後どのような方向性になるのか。

総務課長

地方創生推進室では、地方創生に関わる地域商社の関係やテレワークの関係等を、企画立案から実施まで行うものである。

平成28年度一般会計

補正予算

9328万円の増

(主なもの)

- ・地域医療特別対策基金積立金 1億円の増
- ・ふるさと三戸応援基金積立金 3500万円の増
- ・畜産・酪農収益力強化対策事業費補助金 1973万円の増

地域医療特別対策基金 積み立てる理由は

佐々木議員

地域医療特別対策基金に1億円を積み立てる理由は、

総務課長

三戸中央病院の新公立病院改革プランの中で、病院の改修も見込まれることから、積立金を計上し、地方交付税を財源としている。

その他の議案

- 個人情報保護条例の改正
- 町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正
- 町職員の育児休業等に関する条例の改正
- 乳幼児等医療費条例の改正 (高校生入院費まで拡大)
- ひとり親家庭等医療費条例の改正
- 三戸中央病院設置条例の改正
- 2階病床を3階病床に集約
- 連携中枢都市圏の連携協約の締結
- 定住自立圏形成協定の廃止

○議会の議決すべき事件を定める条例を廃止する条例の制定

○権利の放棄

○八戸地域広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更

○県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の減少及び規約の変更

○町教育委員任命の同意

藤沢圭氏



藤沢圭氏

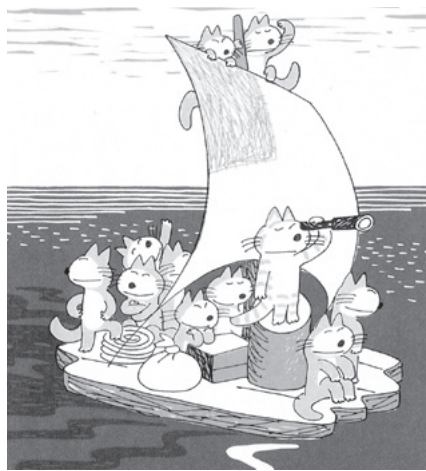
○平成28年度下水道会計補正予算 490万円の減 (計2億9280万円に)

○平成28年度後期高齢者医療会計補正予算 29万円の増 (計1億1681万円に)

○平成28年度介護保険会計補正予算 2808万円の減 (計18億5095万円に)

○平成28年度国保会計補正予算 5307万円の減 (計18億2520万円に)





馬場のぼる作「11 びきのねこ」こぐま社刊より

とらねこたいしょうの ピックアップ特集

青森県たばこ耕作組合三戸
支部と猿辺支部の女性部
の方にお集まりいただき、
お話を伺いました。

葉たばこの売り上げ日本一だった頃の活気を!!



農林業の魅力を発信する担い手ポスター

■一般質問などよく見えますが、議員さんがどこに注目して質問しているのか確認しています。



坂本厚子三戸
支部女性部長

■農閑期には隔々まで見えますが、農繁期は細かいところまで見ていません。

◆さんのへ議会だよりを見たことがありますか？



和田幸子猿辺
支部女性部長

■農業へ興味を持っていたとき、後継者不足の解消に役立てて欲しいです。

■町内ではあまり見かけませんが、素晴らしいインパクトがありますね。

◆好評の農業ポスターを見ていかがですか？



女性ならではの意見が飛び交いました

■仕事は夫婦がうまくいってこそ成り立つものなので、家庭内を円満にしています。

◆女性だからこそ支えていることは？



杉沢和子さん

■収益を上げたいが、生産量を増やせない現状はあります。

■たばこ売り上げ日本一だった三戸町ですが、生産者が減っています。

◆禁煙ブームに対する不安は？



佐藤美華子さん



角沢洋子さん

■町の施設を集約し、機能を充実させ、若者が楽しめる場所が必要です。

■シルバー人材センターの活用方法をもっとアピールして欲しいです。



藤沢すみさん

■後継者不足や遊休農地等への対策とバックアップをお願いします。

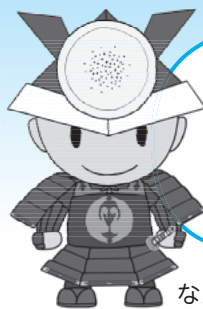
◆町や議会に望むことは？

■子育てが落ち着いても、次は介護となり、仕事との両立が大変です。

町議のQ&A



山口 菊男



第469回定例会において、議員4人が登壇し、町の政策や方針について一般質問しました。

なんぶ丸

人口減少対策どう実現させる!?

A 地域のリーダー的人材を育成し効果的な地方創生を目指す

Q 人口減少対策の課題として、過疎集落の

- 存続や、地域社会で活躍する人材の育成や、移住・定住の促進など、どのようにして図るつもりか。
- ①人材育成の取り組みについて。
 - ②空き家対策について。
 - ③移住・定住対策の効果的な取り組みについて。
 - ④過疎集落の対策について。

A 松尾町長

- ①町の牽引役となるリーダー的人材を養成することを目的に、研修会を実施する。
- ②空き家の実態調査結果を基に、空き家バンクとして活用できる仕組みを構築する。
- ③住宅のリフォームや家賃の助成の他に、首都圏の企



内部をリフォームしたサテライトオフィス

業を対象にしたサテライトオフィスに関する事業や、特産品を開発し、首都圏などへ販売できるよう取り組む地域商社機能の構築・強化事業などを進めて行く。

④安全で安心な地域が保たれ、地域のコミュニティ機能が成立するよう町内会長会議などで話し合いの機会を設けたい。

人材の育成は行政に生かせる工夫を

Q 町の活性化には、人材の育成は重要であるため、様々な意見を行政に反映できるような工夫が必要である。具体的にどのようにして図るつもりか。

A 松尾町長

友好都市である静岡県牧之原市では、各地域のまとめ役となるファシリテーターを養成し、地域のことば地域の中で考え、自分たちでできることを話し合い、まちづくりに取り組む地方創生の目指す姿を実現している。三戸町でも地域のまとめ役となるファシリテーターを養成し、効果的な地方創生につなげていきたい。

空き家の有効活用

今後どう進める?

Q 空き家の有効活用は、空き家バンクを創設しなければ前に進まないため、倒壊の恐れがある建物への対処や、住める建物の活用など、空き家条例の制定を検討するべきでは。

A 総務課長

倒壊等の恐れがある場合は、法律の中で相続人等と相談し対処している。条例の制定は、客観的に判断していきたい。

A まちづくり推進課長

空き家の有効活用として、移住者が空き家を取得し、リフォームをした場合や、空き家の所有者から借り上げた場合など、補助金の対象としている。

また、お試し住宅は、東京や埼玉の方などが利用し、移住等の問い合わせに対応している。



過疎集落存続のための生活支援の検討を

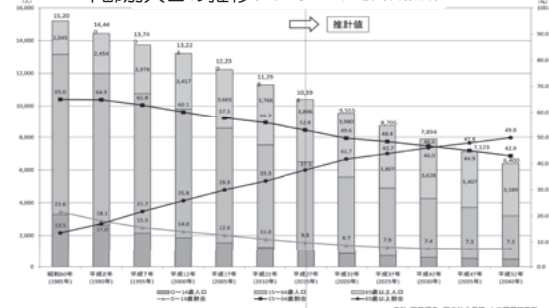
Q 高齢化率が高い過疎集落では、人口の減少により、日常生活が不便で、助け合いの共助も難しい状況である。

また、伝統芸能や文化が継承されないなどの問題もあるため、生活支援対策を講じる検討を。

A 松尾町長

各地域の中で自助と共助のバランスを考慮し、地域に根ざした伝統芸能等が地域の活力となるよう行政だけではなく、地域でもサポートできるようにしたい。

年齢別人口の推移(三戸町総合戦略資料抜粋)





Q 城山公園の観光振興 景観面への考慮は

A 城跡の地形を生かし
自然と景観が調和するような整備を進める

Q 城山公園を整備して、
観光の目玉とする具
体的な町長の考えは。

また、樹木の伐採など景
観面に考慮した整備方針に
ついて。

自然形態を壊さず
間伐や枝払いを

Q 土砂崩れ等の災害が
発生しないよう、自
然形態は壊さずに、樹木の
間伐や枝払い等は可能か。

間伐や枝払い等は可能か。

A 松尾町長
樹木の伐採により、
災害が発生しないようにす
ることは大前提である。桜
の木が見えるよう景観面に
配慮しながら、不要な樹木
の間伐や枝の伐採など取り
組みたい。

災害が発生しないようにす
ることは大前提である。桜
の木が見えるよう景観面に
配慮しながら、不要な樹木
の間伐や枝の伐採など取り
組みたい。



城山公園登り口第1カーブ付近からの景色
(上：大正から昭和初期・下：現在)

パークゴルフ場からの素晴らしい眺望
城山公園や町をPRできる工夫を



さんのへパークゴルフ場から見た町内の眺望

Q さんのへパークゴルフ
場から、城山公園
が一望できる。観光を振興
させるためにも、クラブハ
ウス等にテレビ望遠鏡や、
城山公園の祥鷹閣や日本庭
園等がわかる平面図を設置
するなど、町をPRするよ
うな取り組みができない
か。

A 松尾町長
パークゴルフ場や、
松原公園からの城山公園や
名久井岳の眺望は、他には
ない素晴らしい景色だと感
じている。望遠鏡や地図の
設置など参考としながら検
討したい。



(訂正)

さんのへ議会だより
第171号6ページの
パークゴルフ場概要
の面積は「4万9597
平方メートル」でした。
おわびして訂正します。



佐々木和志

Q 少子化に歯止め!!

支援の拡充と住環境の整備は

A 子育て支援のニーズを把握し
切れ目のない魅力的な支援を展開する

Q 少子高齢化に伴う人口減少は、将来の町の円滑な行政の運営のほか、町の存続も危惧される最重要課題である。少子化に歯止めをかけ、出生数の増加と、生産人口層の移住・定住が町の将来を左右するため、今後の事業をどのように取り組むつもりか。

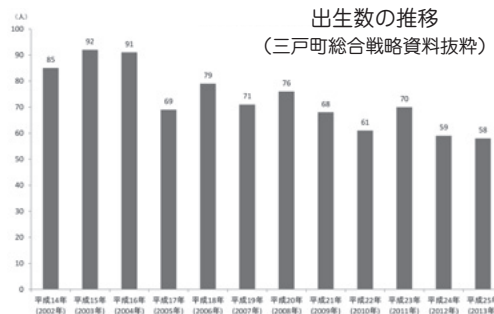
A 松尾町長
①平成29年度から、保育料や医療費の助成など、妊娠や出産期から子育て期にかけて切れ目のない支援を行い、魅力的な子育て支援を展開する。

また、子育て支援のニーズを的確に把握し、各種祝金を含めた具体的な施策は、子ども子育て会議の意見を参考に判断していく。

②子育て世代向けの住宅整備は、若年層の町外流出の抑制となるほか、町外から流入する入居者も見込まれるため、生産年齢人口層の移住や定住に大きな役割を果たすと考える。今後の住宅整備方針は、子育て支援や移住・定住促進対策となるため、様々な方向性を検討したい。

③第3子以降の子どもに対する出産祝金や教育にかかるとする手当の支給等、出生数の増加につながる町独自の政策に取り組む考えはないか。

出生数の推移
(三戸町総合戦略資料抜粋)



城山公園を整備し 町の活性化を

Q 城山公園を整備し、有効活用すること

で、観光の振興や交流人口の増加につながり、町の活性化に大きな効果があると思うが、今後城山公園をどのように整備するつもりか。

A 松尾町長
城山公園は、戦国大名の居城であった三戸城跡であり、青森県内で石垣を持つ城跡は、弘前城と三戸城のみで、史跡として非常に高い価値を有している。

その特徴的な地形を生かした整備と、年間を通じて観光客や歴史ファンが訪れる公園として、ターゲットを絞った効果的なPRを進め、観光振興へつなげていきたい。



中心街の活性化で 町の活気を取り戻せ

Q 人口減少や地方経済の落ち込みにより、中心街は事業の閉鎖による空き店舗や建物の取り壊し等、商店数が減少し、疲弊化は顕著である。中心街の活性化は、町全体の活気を取り戻すことにつながるため、行政と連携した取り組みができないか。

また、町内で起業しようとする人への支援等も新たに行いながら、町の広報誌やホームページでも商店街のPRにつながるような取り組みを行う。

A 松尾町長
中心街活性化のために、町商工会が実施する地域振興事業や、空き店舗を活用したまちの楽校への支援を行っている。

また、町内で起業しようとする人への支援等も新たに行いながら、町の広報誌やホームページでも商店街のPRにつながるような取り組みを行う。

A まちづくり推進課長
29年度から、町民提案地域活性化事業を実施し、提案をいただいたものに補助金を交付する予定である。

宿泊施設の整備 観光の振興へ

Q 観光の振興や交流人口の増加という観点から、町内に宿泊施設を整備するべきではないか。

A 松尾町長
宿泊施設の整備は、各方面と意見交換をしながら、適切な場所や面積等を協議している。今後も相談しながら最大限努力する。

観光の振興や交流人口の増加という観点から、町内に宿泊施設を整備するべきではないか。



Q 城山公園の安全確保

適切な管理体制が

A 安全管理を織り込んだ整備計画をつくる

安全対策が最重要課題
その管理体制は？

Q 自然公園である城山は、安全性が最も重要である。危険木や落石及び道路やガードレールの破損など、危険な場所が見受けられるが、危険箇所の情報収集から改善までの管理体制は機能しているか。



城山公園内の三戸城温故館

Q 城山公園の管理と活性化について。

A ①城山公園の将来像と具体的な整備と手法について
②景観の整備や樹木の手入れ等の具体的な対策について
③定期的なイベントを開催する等、観光客を増加させる手法について。

A 松尾町長

①国の史跡指定に向けた取り組みを強化し、城

跡にふさわしい整備と歴史的に貴重な価値を前面に押し出し、観光客の誘致を図りたい。
②29年度に樹木調査を計画し、桜を中心にしたような管理等を行うべきか樹木医からのアドバイスに基づき事業を実施する。
③春まつり期間外にも、ステージを活用した音楽関係のイベント開催が可能か関係団体と協議したい。

道路は穴埋め補修等に対応している。

また、山腹からの落石や土砂は、三八地域県民局へ通報し対処しており、今後もパトロールを行い、安全確保に努める。

A 松尾町長
今後の公園管理は、向こう10年の公園整備計画の中に、指摘された安全管理を織り込みながら、目配りできるよう調整する。

管理体制を見直し
生態系の維持を

Q 公園管理人が使っている管理用具や防具は適切なものではない。町は、公園の生態系を把握し、樹木医の指示の基で、しっかりと作業ができるような体制をとる必要があると思うが、町長の考えは。

A 松尾町長
公園の管理は、予算をつけるだけではなく、管理人が安全に仕事ができ、生態系の維持管理につながるようにしたい。

A まちづくり推進課長
樹木の場所等の台帳整備を行い、台帳を基に、樹木医から指摘をいただき、維持管理のアドバイスを受ける予定である。



新しいイベントで
観光客の集客を

Q 昨年度と違う新しいイベントの企画で、観光客を集客する具体的な方法は。

A まちづくり推進課長
29年度は、11びきのねこが誕生してから50周年記念となるため、歴史民俗資料館での企画展や、子どもたちが楽しめるイベントを実施する予定である。
また、その他のイベントは、関係団体と協議を働きかけ進めたい。

三戸町議員団

静岡県視察レポート

平成29年1月30日から2月1日にかけて、静岡県掛川市や友好都市である牧之原市などを視察し、3月定例会で報告しました。

多職種の連携で

支援体制を構築

掛川市健康医療支援センター

中部ふくしあ

(静岡県掛川市)

静岡県掛川市では、多職種連携による地域包括ケアについて研修しました。

掛川市は、平成28年3月31日現在の人口が117、520人で、平成22年10月から在宅医療と在宅介護の生活支援を柱に、地域の医療・保健・福祉・介護の問題を多職種が連携し支援する拠点場所として「ふくしあ」を、市内5ヶ所に整備しております。

視察した中部ふくしあは、平成27年4月1日に掛川市立総合病院跡地に誕生した希望の丘に整備され、希望の丘では、障がいのある人も含め、全ての世代の人々が住み慣れた掛川市で暮

らし続けることができるよう、医療・保健・福祉・介護・教育に関する施設が集まり「いのち」を育む拠点ともなっております。

ふくしあの基本的な構成団体は、全体のコーディネート役割を持つ行政と、高齢者の総合支援を行う地域包括支援センターと、地域の育成や見守りネットワークを行う社会福祉協議会と、在宅医療を支える訪問看護ステーションの4団体となっており、構成している団体の執務室をワンフロア化することで、迅速な多職種の連携や垣根のない支援を行うことが可能となっており、この総合的な支援体制によって、住み慣れた地域で安心して生活できる環境が構築されています。

報告者

民生商工常任委員会

委員長 澤田道憲



中部ふくしあでの研修のようす

「対話」と「協働」で地域の絆づくりを

牧之原市役所相良庁舎
(静岡県牧之原市)

友好都市である静岡県牧之原市では、地域の絆づくり事業について研修しました。

牧之原市では、「牧之原市自治基本条例」を制定し、条例の中に「対話の場とひとづくり」を掲げ、協働の町づくりを市民と一緒に進めるよう人材育成と、



友好都市牧之原市で研修を受ける議員

自由な立場で意見交換ができる対話の場を設置しています。

対話の場では、ファシリテーター(会議進行役)の存在が大きく、市独自のワークショップでの対話をもとに合意形成を図り、10地区において自分たちのまちづくりの計画をまとめています。

質の高い「対話」によって、それぞれの地域の課題が解決する方向へ進み、地域の人の力を引き出すことで主体性が導かれ、課題解決に必要な事業が実現するものであり、これからの地方自治のあり方を学びました。

津波や地震対策で原子力の安全強化

浜岡原子力発電所
(静岡県御前崎市)

浜岡原子力発電所の概要や取り組みについて施設を見学しました。

敷地面積160万㎡で稼働している浜岡原子力発電所は、周辺市町に24・6万人が住んでおり、各自自治体と安全協定が結ばれております。

原子力はウランの核分裂の熱を利用し、タービンを回転させることで発電機で電気をつくっており、現在、1号機と2号機は廃止措置(解体)となり、3号機と4号機と5号機が稼働しています。

発電所の安全性を向上させるため、4000億円を投じた海抜22mの防波壁の設置や電源を喪失させないガスタービン発電機の高台設置など、津波や巨大地震に備えた対策を講じていました。

報告者

総務文教常任委員会

副委員長 大平憲男

委員会調査レポート

議員は3つの常任委員会のいずれかに所属しています。各委員会は、議会が閉会している間に担当分野について調査し、その調査結果を議会で報告します。

民生商工常任委員会

幼保連携型認定こども園 保育園における教育活動を視察

◇2月22日、認定こども園の運営状況について調査しました。

〔調査箇所〕

幼保連携型認定こども園
ミューズ保育園

〔調査結果・意見〕

- ・平成28年度に幼保連携型の認定こども園に移行したミューズ保育園は、積極的な教育活動を展開しており、特に音楽教育においては特徴のある取り組みを行っている。



ミューズ保育園長から説明を受ける委員



認定こども園の開園に向け工事をしていたいずみ幼稚園

- ・病後児保育について実施を検討しており、看護師等を配置基準を満たすべく、今後取り組み予定である。

- ・ミューズ保育園の幼保連携型認定こども園への移行は、スムーズに行われており、良好な運営状況である。

- ・平成29年度は、いずみ幼稚園も幼保連携型の認定こども園としてスタートするため、住民のニーズに沿った運営ができるよう町も支援していただきたい。

建設農林常任委員会

冬期間の道路維持

行き届いた除雪と管理を

◇2月9日、町公共工事及び冬期の道路管理について調査しました。

〔調査箇所〕

道路改良舗装工事

(小学校裏通り線)

道路改良舗装工事

(沼尻中野線)

側溝改良工事 (菖蒲沢線)

災害防除工事 (杉沢大平線)

冬期町道維持管理状況

(比丘尼坂・蛇沼大平線)



道路改良舗装工事の調査 (小学校裏通り線)



側溝改良工事の調査 (菖蒲沢線)

〔調査結果・意見〕

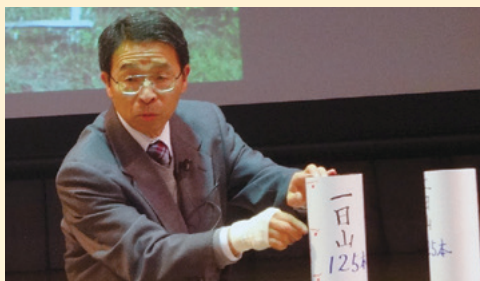
町公共工事について

- ・小学校裏通り線の道路改良舗装工事や菖蒲沢線の側溝改良工事や沼尻中野線の道路改良舗装工事は順調に推移している。

冬期の道路管理状況について

- ・比丘尼坂線と蛇沼大平線の冬期町道維持管理状況は除雪が行き届いている。拡幅工事等の要望に対しては、地権者の同意等で時間を要するため検討事項としていただきたい。

南部生漆生産の歴史と背景 漆掻きの道具と技法を学ぶ



講師の橋本芳弘氏

南部生漆生産地域の形成について

- ①藩政時代から続く漆生産の様子
- ②越前（現福井県）から伝わった漆掻きの技術
- ③越前式漆掻法と主な道具と特色のある作業
- ④漆樹の植栽と漆の国内生産量

◇1月24日、三戸市・三戸町・田子町議会議員協議会が田子町中央公民館において開催されました。今回は、調査研究活動の一環として行われ、3市町に共通する漆文化に関する講演会となりました。

（演題）

「南部生漆生産地域の形成と越前式漆掻法」

橋本 芳弘 氏

（新郷村教育委員会教育長）



会場の様子

北海道福島町議会が視察

◇1月19日、北海道松前郡福島町議会議員6名が、小中一貫教育等の視察のため来町しました。

- ①小中一貫校三戸学園の視察
- ・小中一貫教育の経緯と体制について
- ・立志科について
- ②歴史民俗資料館の見学
- ・横綱鏡里の展示状況と千代の山との関係について
- ③アップルドームほのぼの館の見学
- ・施設の管理状況について



歴史民俗資料館を見学する福島町議員のみなさん

6月議会のお知らせ（予定）

- 6/2（金）・町長からの議案説明
10:00～
- 6/3（土）～5（月）休会
- 6/6（火）・一般質問
10:00～ 議員が45分の持ち時間内で町の施策について質問します。
- 6/7（水）・一般質問、議案審議、採決
10:00～

開会予定日は **6月2日**です。

議会をネット配信しています

議会でおこなった議員の一般質問を、インターネットで配信しています。
町ホームページ内の議会コーナーへアクセスすると、議員による質問と町の答弁のようすを視聴できますので、ぜひご覧ください。
（三戸町ホームページ）
<http://www.town.sannohe.lg.jp/>

町民登場コーナー始めました

さんのへ議会だよりは、わかりやすく、親しまれる議会広報づくりを目指し、町内で活躍する方や団体を取り上げた特集（本誌7ページ）を設けましたので、ぜひご覧ください。

※今回ご協力いただいた青森県たばこ耕作組合三戸支部と猿辺支部の女性部の皆さんに感謝申し上げます。

VOICE 「町民の声」

「議員が一生懸命に問題提起をしているのがわかりました。」

「自分たちの選んだ議員が、どのような声を上げているのかを聞く機会は大切だと思います。」

「スピード感を持って活力あるまちづくりをお願いします。」

「議会終了後の報告会を実施して欲しいです。」

「町民の幸せのために頑張ってください。」

（傍聴者からのご意見）



現在、日本は近隣諸国の軍備脅威や憲法改正など、国の将来のあり方について議論が交わされ、大きな転機を迎えつつあります。

しかし、国民の間ではどこか他人事のように捉えられ、危機感や問題意識といった点で、更なる周知と努力が必要だと感じます。

国であれ町であれ、何より問題視すべきは住民の『無関心』です。

本町でも、厳しい財政運営の中で、町民の声が大きくな緊張感へと繋がります。

町が何を考え、それに対し議会がどのような対応をしているか、ぜひ議場で傍聴し、声を聞かせていただきたいと思っています。

（佐々木）

平成29年5月

議会広報編集委員会

委員長 船場 清治

委員長 北 向 敦

委員 澤 田 道 憲

委員 山 口 菊 男

委員 佐々木 和 志

委員 澤 田 恵